

外国人留学生研究発表会

外国人留学生から見た日本。
アジアの国との異文化間理解。

本学で学ぶ外国人留学生が、日本社会や文化について調査、研究を行った結果を日本語で発表します。
お気軽にご参加ください。

日時 **2022年12月21日(水)** 9:05~10:30

会場 **京都ノートルダム女子大学**

ユージニア館 3階 NDホール (申込不要・入退室自由)

発表者 「日本語表現Ⅱ」(高岸雅子講師) 履修の外国人留学生 計10名

プログラム 【発表時間+質疑応答時間】 1組 15分程度

1	中国人日本語学習者の学習ストラテジー 現代人間学部 心理学科 1年次生 現代人間学部 心理学科 1年次生	私たちは中国人留学生として日本語を学習している。そして日本語を勉強する過程で、さまざまな困難に直面したこともある。そこで、中国人の日本語学習者がどのように日本語を勉強しているのか、例えば、どのような学習ストラテジーを使って、文法、読解、会話、聴解、作文などの学習を行なっているのかについての調査を行った。
2	オンライン授業について 国際言語文化学部 国際日本文化学科 2年次生 国際言語文化学部 国際日本文化学科 2年次生	2020年に世界的に蔓延した新型コロナウイルスの影響により、学校や塾などでこれまで当たり前に行われていた対面授業の継続が難しくなり、オンライン授業が広く行われるようになった。そこで、日本人、中国人、香港人の大学生を対象に、オンライン授業に対する意見や考えについて調べた。
3	就寝前のスマートフォンの利用と睡眠の質について 国際言語文化学部 英語英文科 2年次生 国際言語文化学部 英語英文科 2年次生	情報化社会に伴い、スマートフォンを含むメディアは、人々に多くのメリットをもたらす一方で、不適切な使用のため、人々の体に多くの害を及ぼしていることが明らかになった。そこで、さまざまな年齢層の人々を対象に就寝前のスマートフォン利用についてどのような意識を持っているのかを調査した。
4	日本人とベトナム人の断食(ファスティング)についての意識調査 現代人間学部 心理学科 1年次生 国際言語文化学部 国際日本文化学科 1年次生	断食は昔からあった習慣だが、近年断食(ファスティング)により健康増進、頭の調子(思考力、集中力)、美容などの面で効果があると報告されるようになり、最近広く注目されている。日本人とベトナム人の人々が断食(ファスティング)についてどのような考えを持っているかを探る。
5	日本と中国の大学生の消費行動について 現代人間学部 心理学科 1年次生 現代人間学部 心理学科 1年次生	現代社会において、大学生は1つの巨大なグループ集団である。彼らの消費行動は現代社会の消費状況に影響を与えると考えられるので、大学生の消費行動について調べることにした。そこで、日本と中国の大学生の収入源、自由に使えるお金の消費傾向などについて詳しく調べた。



京都ノートルダム女子大学

教育支援部 学事課

〒606-0847京都市左京区下鴨南野々神町1番地
TEL:075-706-3661 FAX:075-706-3790
E-mail: gakuji@ml.notredame.ac.jp
<http://www.notredame.ac.jp>